


ふるさと財団「地域再生マネージャー」情報

1. 基本情報					
	組織名・所属	株式会社 玄			
	役職	代表取締役			
	氏名	政所 利子	ふりがな	まんどころ としこ	生年
連絡先	住所	〒110-0001 東京都台東区谷中5-7-7			
	電話	03-5685-9249	携帯電話		メールアドレス ① gen■castle.ocn.ne.jp (■を@に変えて下さい)
2. 経歴・取組内容、取組分野等					
主な経歴・受賞歴	<ul style="list-style-type: none"> ◆1988年 株式会社 玄 設立 ◆1998年 地方振興アドバイザー(国土庁地方振興局)、地域ブランド研究会(東京都北区・大分県・山形県・石川県・北海道他)GM ◆1996年 (財)北区勤労者サービスセンター 理事((一財)東京城北勤労者サービスセンター評議員)就任 ◆2000年 社会実験の推進に関する懇談会 委員(国土交通省) ◆2000年 地域ブランド研究会/メイド・イン NEXT(三重県・富山県・青森県他全国)GM ◆2001年 伝統的工芸品産地プロデューサー((一財)伝統的工芸品産業振興協会) ◆2002年 ふるさとづくり懇談会 委員(※2014年「地域づくり懇談会」改名)(総務省) ◆2002年 立教大学大学院観光学部 非常勤講師、多摩大学 非常勤講師 ◆2003年 過疎地域自立活性化優良事例表彰委員会 委員(総務省)、山形カロッツエリア研究会 副代表(山形県) ◆2005年 全建賞審査委員会 委員((一財)全日本建設技術協会)、東北文化学園大学 客員教授 ◆2005年 文化観光懇談会 委員(国土交通省) ◆2007年 関東経済産業局地域産業資源活用事業評価委員会 委員 ◆2007年 第29次地方制度調査会 委員(内閣府)/内閣官房 地域活性化伝道師 ◆2008年 VISIT JAPAN 大使(2010年10月「YOKOSO! JAPAN 大使」改名)(国土交通省観光庁) ◆2008年 ラグジュアリー・トラベル国内ネットワーク研究会 副委員長(経済産業省) ◆2008年 関東経済産業局新連携対策補助金(農商工等連携対策支援事業)審査委員会 委員長 農商工等連携事業評価委員会・新事業活動・農商工連携促進支援・ふるさと名物応援事業評価委員会 委員及び委員長歴任 ◆2011年 ふるさと財団 地域再生マネージャー ◆2013年 (一財)ロングステイ財団 理事就任、東京大学 東大まちづくり大学院 講師、明治大学政治経済学部 講師 ◆2015年 ミラノ国際博覧会日本館サポーター・世界農業遺産展アドバイザー(農林水産省/経済産業省/JETRO) ◆2015年 跡見学園女子大学観光コミュニティ学部観光デザイン学科、コミュニティ学科 兼任教員 ◆2016年 株式会社 新しい村 取締役就任 ◆2017年 (独)国際協力機構 北海道開発センター課題別研修「中米統合機構加盟国向け 幹線道路沿線地域開発」講師 ◆2019年 千年芸工館 館長就任、産・学・官連携・地域ブランド研究会 GM ◆2022年 (一財)地域総合整備財団 評議員就任 				
主な取組内容	<p><取組の内容></p> <p>地域づくりは古来から外部との交流を重ねつつ、地域の遺伝子気質を、命や環境に心配りしながら地域人によって継承して来ました。地域が主体的地域振興を推進する上で、各地域基盤を明確に見極め、地域遺伝子を継承する方法論には具体策が重要です。伝統と現代、環境と社会、個人とコミュニティといったバランスも必要です。自らが地元学を磨き、新時代への戦略づくりを総合的に深めなければなりません。「地元が地域を深く知る」新視点で見つめ直す、守るべき点は明確化したその上で未来設計図を描かなければなりません。様々な制約条件と、多様化・複雑化・変容する社会下において、地域の観察者である住民力と地元の匠の技量と地域文化力を活かすべきです。地域資源活用創造型産業構築と基盤づくりには、地域総体力を結集して、変容する社会・経済にスピード感を持って即応させていくことが大切です。人材育成と水平ネットワークが鍵であり、公共支援としては、持続的経営を主軸とした政策が不可欠です。</p>				
実績等	<p><実績></p> <p>商品開発は必ずヒットさせます。「ヒットとは」それは、地域の新資源化とさせるパワーを地域に根づかせ、地球人としての誇りの下に、事業化させること。商品開発における一貫プロデュースが評価され、多分野での成果に結実させています。観光戦略等においては新規事業分野の開拓等、地域活性化に直接・間接に限らず、「もてなし・集客・レポート」の質の向上に重点を置き、継続的な収益性を向上させています。地域が自立的に創造し、経営を持続させる成果と地元の人材育成等、地域還元力の高い結果を創出しています。</p>				
取組分野	最も専門性の高い分野	地域振興事業・地域ブランド事業・人材育成コンサルティング			
	その他活動実績のある分野	新・地域ブランド創生及び国内外への流通展開の事業実践化			
	その他活動実績のある分野	農林水産資源活用及び事業者連携の産業振興策及び事業展開の実現化			
	その他活動実績のある分野	地域資源(ハード・ソフト)活用地域発展持続型開発・地域活性化プロジェクト組織編成			
	その他活動実績のある分野	次世代地域活性化策と人材育成、指導・運営			
3. 関連ホームページ					
	名称	アドレス			

4. ふるさと財団での実績	
外 活 用 専 門 成 家	◆2012年度 岩手県金ケ崎町 「地域資源を活かしたシティプロモーション」
外 （ 短 期 専 門 診 断 ） 派 遣	◆2021年度 北海道奥尻町
地 域 セ ミ ナ ー 再 生	
そ の ほ か	

5. 財団報告書	
名称	アドレス
令和 3年度 新・地域再生マネージャー事業	https://www.furusato-zaidan.or.jp/wp-content/uploads/2017/03/45ff1a477f455b10821212c56a1abe1c.pdf

6. 写真・ひとことPR	
	<p><ひとことPR></p> <p>地域活性化コンサルタントとして全国各地の産業活性化の実践事業に従事し、数々のヒット策とヒット商品を創出しています。価値観・従来型社会経済システムの限界、コロナ禍等、国・地域・企業・組織・個人の「役割と存在」自体が問われています。中・長期的視点に立ち、地域資源を再構築して地域経営環境の再整備が急務です。地域社会の課題は、複合的な要因が益々、重層化する一方で、今こそ地域の真価を発揮させる好機でもあります。「自立性への第一歩」を見出すべく『地域総体力の発揮と持続型ビジネス』の戦略・戦術づくりを主軸に置き、人材育成と地域力の総結集のしくみづくりに焦点を集中させ、持続型の地域自立経営と事業展開の実践を現場主義に重点を置いています。</p>